

Global and Innovation Gateway for All

GIGA 通信

-児童生徒1人1台端末の日常的な活用に向けて-



発行元

佐野市教育センター

佐野市上羽田町1134番地1

電話 20-3108

20-3048(相談専用)

GIGA 端末の本格的な活用が始まり、約4ヶ月が経過しました。先日、ある保護者から「夏休みということで子どもがコンピュータを持ち帰ってきました。早速、子どもと一緒にコンピュータで宿題に取り組みました。提出もできると聞いて、時代が変わったと思いました。」という話をお聞きしました。保護者にとって『児童生徒1人1台の端末』は、関心事であり、『夏休みの端末持ち帰り』は、学校で「学び」がどう変わるのかわらせるよいチャンスとなっているようです。

今回は、6月末に取材させていただいた吾妻小学校での実践で、『端末の日常的な活用』について紹介いたします。

○『グーグルフォームを利用して健康観察』



吾妻小学校の3年生の教室では、毎朝の健康観察が端末を利用して行われています。朝登校した児童は、保管庫から端末を出し、ログイン後、上記のフォームの質問事項に回答します。5月末から始めているので、現在は全ての児童が1~2分で回答を終了するそうです。



担任の先生からは「毎朝の健康観察が省力化できないかと考えました。今までの健康観察以上に児童の表情を詳しく見るようになったことは思わぬメリットでした。また、子供たちにとっても身だしなみチェックなどを自ら行うことで、意識の

向上も感じています。フォームの利用に慣れることで、授業でアンケート等が簡単に利用できるようになったこともメリットです。」と思わぬ効果が多数あったことをお聞きしました。

○『校外学習にはGIGA 端末を持参』

6年生の校外学習では、GIGA 端末を記録用として活用しています。現場で各自が写真撮影し、

教室で写真を元にレポートを作成します。担任の先生から「最初はデジカメ代わり程度に考えていましたが、各自が撮った写真を元にレポートを作成しているので、児童はとても意欲的です。児童主体の授業ができたような気がしています。」とのお話をお聞きしました。



校長先生から、これらの取り組みについて「今回取り上げていただいた3年生や6年生の取り組みは、今後、学校全体での取り組みに広げたいと思います。特に校外学習については、モバイルルーターとの併用も考えていきたいです。」とのお話をいただきました。

今回の取材から、日常的な活用によって思いもよらぬ成果が得られることに気づかされました。「毎日活用することで、情報モラル指導が日常的に行えることは、大きいと思っています。」という担任の先生の言葉が心に残りました。

(文責 教育センター所長)